

# 学校保健

THE SCHOOL HEALTH No.201

(財)日本学校保健会

生涯を通じて健康で、明るく  
豊かに生きる子どもの育成  
—健康なライフスタイルを確立する  
自己管理の育成をめざして—

第44回全国学校保健研究大会の主題  
(平成6年度 和歌山県)



## 学校保健の原動力

(財)日本学校保健会 常務理事 下田 巧

当今、学校保健の課題については、議論百出、百家争鳴の感があるが、各学校で学校保健活動を推進するために、三つの提言をしたい。

その第1は、各学校毎に、学校保健の当面の課題について共通理解をもち、それが学校経営の中に位置づけられ、全職員が共通理解を持って経営にあたることである。校長の信念、保健主事、養護教諭等のリードを期待したい。

その第2は、学校運営組織の中に重要な分野として位置づけられ、学校保健の円滑な運営活動ができるための、それぞれの分掌に当る人たちの積極的、奉仕的活動を期待したい。

その第3は、学校内の活動と共に、保護者、地域社会の協力を得て各地域における児童生徒の保健活動が盛んになるための学校保健委員会の積極的活動であり、校長、保健主事、養護教諭等の原動力を期待したい。

健康づくりのために、まずあなたの体を知る  
KYB(Know Your Body)のすすめ



「生活習慣からみた  
児童生徒の健康づくり  
のポイント」から転載

## 目次

こどものからだの現状…… 2

「学校保健募金」と  
日本学校保健会……… 3

全国学校保健協議大会…… 4

Q & A 骨髄移植 …………… 5

北から南から—富山県—… 6

和久井健三先生を悼む……… 7

会報をよくするため、読者のご意見を求めています。お葉書をお寄せください。

# こどものからだの現状 — 文部省・学校保健調査より —

(財)日本学校保健会常務理事 中 村 道 子  
全国養護教諭連絡協議会会長

平成 5 年度学校保健統計調査結果の概要が文部省より出されました。この結果の概要をもとに、児童・生徒の発育状態や、主な疾病等の現状を報告いたします。

## 1. 発育状態

児童・生徒及び幼児の身長・体重・胸囲は男女ともに増加傾向です。身長においては10歳から11歳、体重は10歳から12歳、胸囲は11歳から13歳、座高は10歳から12歳の間で女子が男子を上回っています。座高は全体として身長に比べて伸びずほぼ横ばいとなっています。

30年前(昭和38年)の平均値と比較すると身長は13歳男子で8.7センチ、女子は11歳で7.2センチ、体重は13歳男子で8.6キログラム、女子11歳で6.5キログラム、胸囲は12歳男子で5.1センチ、女子11・12歳で5センチ余も差があります。(表1参照)

表 1 30年前の平均値との比較 (すべて男子)

	身長(cm)	体重(kg)	胸囲(cm)	座高(cm)
最も差のある年齢	13	13	12	13
平成5年度の増加数	8.7	8.6	5.1	3.3

## 2. 健康状態

疾病・異常被患率の中で最も高いものはむし歯(う歯)で80パーセント以上となっています。(図1参照)

むし歯(う歯)の被患率は、40年前においては40~50パーセント、30年前では食生活の変化等により急増しましたが、この数年においては予防の普及等により、被患率は減少傾向にあり本年度も昨年度を下回っています。(図2参照)

図2 むし歯(う歯)の未処置歯の校種別推移

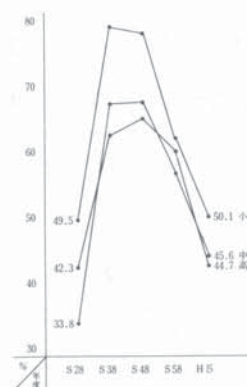
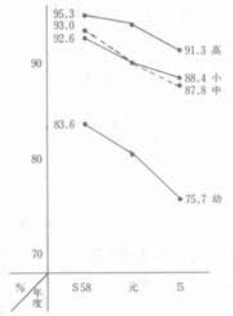


図1 むし歯(う歯)の校種別推移



次に視力異常です。裸眼視力1.0未満の者が発達段階が進むにつれて高くなり、高校生は61.9パーセントとなっています。(図3参照)

また、裸眼視力0.3未満の者も増加しており、小

学生5.5、中学生20.4、高校生33.5パーセントです。

視力の低下が目立っており、被患率は過去最高となっています。

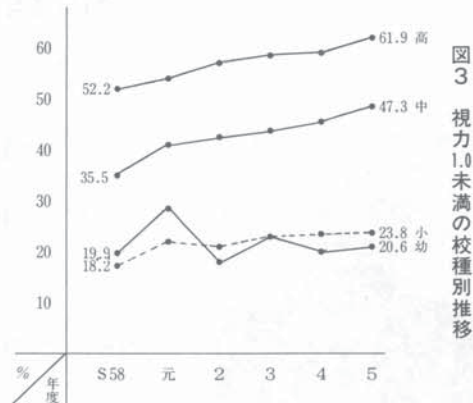
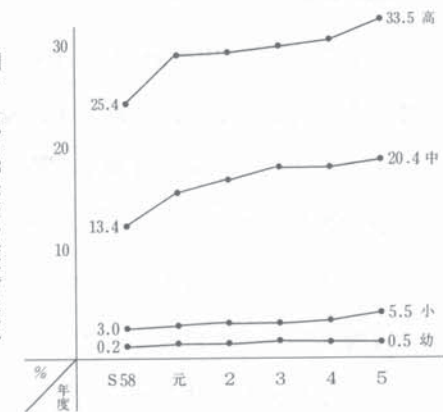


図4 視力0.3未満の校種別推移



肥満傾向の者は、近年増加傾向であったのが本年度はほぼ横ばい状態です。校種で見ると小学校が最も多く、中・高等学校と減少しつつあります。(表2参照)

表2 肥満傾向の者の推移(%) (20年前との比較)

	幼稚園	小学校	中学校	高等学校
平成 5 年	0.7	2.6	1.7	1.6
4	0.8	2.6	1.7	1.3
3	0.7	2.6	1.8	1.2
2	0.7	2.2	1.7	1.3
元	0.5	1.8	1.2	0.9
昭和 58 年	0.4	1.8	1.2	0.8

ぜん息の者の割合は、幼稚園0.8、小学校1.2、中学校1.0、高等学校0.7パーセントとなっています。ここ数年間はほぼ横ばいとなっています。

## 「学校保健募金」と日本学校保健会

(財)日本学校保健会 常務理事 杉 浦 稔

### 募金が必要となったわけ

日本学校保健会は平成5年8月3日、文部大臣から特定公益増進法人の認可を受け、募金活動を開始しています。この法人は「わが国の学校保健の向上に寄与することを目的とする」ために、広く一般からの募金を認められたものです。そして寄付金額の1万円を越える部分は、税法上所得から控除されることができるといった利点のあるものです。

では、なぜ募金をしなければならないのかといいますと、ひとつには年々減少している児童・生徒の数、もうひとつは毎年受けていた某団体からの助成金が事情によって、中止になり、収支の均衡を欠くこととなったことにあります。

本会の一般会計の財政は、約40%を各都道府県学校保健会からの拠出金で占めています。その拠出金の算定根拠となるのが児童・生徒数です。

この他、基本財産からの収入が9.7%、事業収入17.2%、助成金収入22.8%が主なものです。このうちの助成金収入が無くなったので、平成6年度は臨時積立金から補填して予算が立てられました。

児童・生徒数は将来も減少傾向はつづき、その1人当たり拠出金の額を引き上げても、一時的なもので根本的な解決策になりません。また、拠出金の引き上げ策は、従来からの経緯で困難な点が多くあります。

平成4年度に設置された財務検討委員会で種々検討の結果「財団法人の性格からも基本財産を育成して、その果実で会務を運営するべきである」という結論になったわけです。

以上のことから特定公益増進法人の認可を受け、基本財産育成のための募金活動となったわけです。

### 日本学校保健会の事業について

本会の事業は大きく分けて一般事業、学校保健センター的事业、学校体育振興事業の3つがあります。このなかの一般事業が前記の一般会計で運営されています。センター的事业は主に国庫補助金の特別会計で、体育振興事業は公益信託「日本教育シューズ学校体育振興基金」の特別会計で事業が行われています。

一般事業は学校保健行政に対する協力はもちろんのこと、全国学校保健研究大会、全国学校保健協議大会、全国事務担当者連絡会などを開催、加盟各団体や関係諸団体との連携を密にして、会報「学校保健」と「学校保健の動向」などの図書出版を行っています。

この他にも、学校保健関係図書や用品の推薦、学校保健功労者の顕彰など多くの事業を行っています。

学校保健センター的事业は、普及指導事業、調査研究事業、健康増進事業に分れていて、健康増進事業では特定の課題を加盟団体へ委託して、現場実践の研究を行っています。このセンター的事业と体育振興事業は前記のごとく特別会計ですが、本会の基礎となる一般事業は一般会計によって会務が運営されています。

### 学校保健の推進に向けて

昭和26年に福岡で第1回の全国学校保健大会が開催され、その後の運動によって昭和33年には「学校保健法」が制定されました。そして学校での実践活動が盛となり、昭和47年には「児童・生徒の健康保持増進に関する施策について」という保健体育審議会の答申に基づいて現在のセンター的事业が始まって現在に至っています。

この間社会環境の変化は著しいものがあります。2頁にありますように体格は良くなっても、視力、う歯などの問題点が指摘されています。この他にも「いじめ」にあらわれる心の問題などは、ときに社会問題として取り上げられています。

一方、子どもの人口は合計特殊出生率が1.5を割ってきています。小学生では昭和56年に11,924,653人が最高で、その後減少をつづけ平成4年には8,947,226人となりました。21世紀の支持基盤となるべき子どもたちの心身の健康問題は、わが国の将来に備える重要な課題と考えます。このためにも本会の財政を健全なものとし、より一層の事業を推進しなければなりません。

各地域保健会や各部会を通じて（7頁の募金のお願いのしおり参照）皆様方にご協力をお願いがあると存じますが、ぜひご理解を賜りたいと存じます。

# 健康教育の充実など協議

## —全国学校保健協議大会—

平成 5 年度の全国学校保健協議大会は、大分県で開催された第 43 回全国学校保健研究大会の閉会式の終了後、大分文化会館第一小ホールで午後 4 時 10 分から全国の代表 140 名が出席し開かれた。

日本学校保健会村瀬会長、大分県学校保健会吉川会長、文部省体育局学校健康教育課近藤課長(代)のあいさつのあと、日本学校保健会矢野副会長、下田常任理事、山梨県学校保健会刑部会長、大分県学校保健会吉川会長、和歌山県学校保健連合会岩本会長の 5 氏が議長団に選出された。

報告事項では、平成 4 年度の協議事項の処理に関して、4 年度開催県の刑部会長から「文部省宛の児童・生徒の健康診断の充実と強化の促進他 8 項目の要望事項は、平成 5 年 2 月 14 日(金)和久井専務理事が文部省へ出向いて説明し、善処方を要望した。これに対し文部省から極力努力する旨の話があった」と説明された。また、加盟団体教育委員会宛の要望事項については平成 5 年 2 月 14 日、村瀬会長名をもって各都道府県・指定都市学校保健会長に要望書として発送したことを報告した。

つづいて協議に入りつぎの協議題についてそれぞれ各ブロック代表の提案説明があった。

### 1. 健康教育の推進について

- ① 児童・生徒の心の健康に関する対応の充実、  
佐賀県学校保健会事務局長 吉村 勇
- ② 性教育・エイズ教育の充実  
島根県学校保健会幹事 山崎 滋

### 2. 児童・生徒の健康診断の充実強化

- ① 専門医のいない地区の学校検診の検討  
山形県学校保健会事務局次長 渡辺茂春
- ② 口腔疾患に対する対応の充実強化と歯科疾患予

防の効率化を図るための方策

奈良県学校保健会幹事 藤田康子

- ③ 学校保健における健康相談と清潔管理(検査器具等)と事後措置の範囲の検討

川崎市学校保健会長 田辺 誠

### 3. 教職員の学校保健に関する資質の充実強化

- ① 保健主事の資質の向上と職務の遂行の定着化について

石川県学校保健会幹事 川岸信一

- ② 学校保健担当者に対する研修の体制づくりと新規採用養護教諭研修の充実について

愛媛県教育委員会保健体育課指導主事 坪内敏博

### 4. 学校保健活動の充実と強化

- ① 学校保健委員会の充実と強化

埼玉県教育局指導部学校保健課主任指導主事

上迫田健二

### 5. 学校環境衛生の充実

三重県学校保健会事務局長 瀬古淳二

### 6. 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の充実と待遇改善

北海道学校保健管理課長 山本昭七

以上の各項目について質疑があった。

この他、各ブロックから提出された協議事項および要望事項については、当日の協議題とあわせて、要望事項、研究課題等に整理作成することを議長団に一任した。

その他では、昨年 8 月に認可を受けて活動開始した「学校保健募金」について青木常務理事が説明、各加盟団体の協力を要請した。

最後に次年度開催県の和歌山県学校保健連合会岩本会長のあいさつがあり閉会した。

## Q&A 一骨髄バンク事業に関する普及啓発のために一

A……………文部省体育局学校健康教育課専門員 北島 智子

### Q 骨髄移植について教えてください。

骨髄移植とは、患者さんの病におかされた骨髄幹細胞（血液の成分のもとになる細胞）を骨髄提供希望者（ドナー）の健康な骨髄幹細胞に置き換える（実際は骨髄液を点滴静注する）ことです。

白血病、再生不良性貧血、先天性免疫不全などの難病は、以前は有効な治療薬がなく、治りにくい病気でした。しかし、骨髄移植という治療法により、これらの疾患で苦しむ患者さんが健康を取り戻せるようになり、近年、厚生省を中心に骨髄移植の普及・促進が図られています。

### Q 骨髄バンクとは何ですか。

骨髄移植を行うには、患者と白血球の型（HLA型）が一致する健康な方の骨髄が必要となりますが、このHLA型が兄弟姉妹以外（非血縁者間）で一致する確率は数百～数万人に1人と稀であるため、骨髄移植を受けられない患者が少なくありません。

このため骨髄提供希望者（ドナー）を募り、HLA型を登録された方々の中から骨髄移植を希望する患者とHLA型が適合するドナーを検索し、選定されたドナーにボランティアとして骨髄を提供していただく『骨髄バンク事業』が平成4年1月から全国規模で実施されています。

骨髄移植を必要とする患者は毎年1,500～2,000人に上ると推計されますが、上記の確率をもとに試算するとドナー登録10万人で約90%の患者にHLA型適合ドナーが見つかることとなります。1人でも多くの患者を救済するために1人でも多くの方が骨髄バンクに登録されるよう、現在、(財)骨髄移植推進財団を中心として普及啓発活動が展開されており、まだまだ国民各層への周知が立ち遅れているのが現状です。

### Q 教育関係者に対して、骨髄バンク事業に関する普及啓発は行われているのですか。

実際に骨髄バンクに登録できる年齢は20歳から50歳までとなっていますが、次代を担いボランティア活動の中核としての協力が期待される生徒等に対しても、骨髄バンク事業に対する理解と関心を深めることが望まれます。

このため、文部省では、都道府県・指定都市教育委員会体育・スポーツ・保健・給食主管課長会議のほか、私立学校や社会教育関係者に対する会議において、パンフレットを配布し、本事業の普及啓発について呼びかけています。また、全国の国立大学へは、ポスター及びパンフレットの配布が行われています。

なお、厚生省(保健医療局疾病対策課)、(財)骨髄移植推進財団(Tel.03-3355-5041)が普及啓発用のパンフレット等を作成していますので、希望があれば入手可能となっています。

## 虎の門(24)

### 「老人」の押しつけは禁物 一積極人生の後押しを一

かつて教鞭をとり退職した女性たちの新年会の席上、88歳のO女史が背すじをピンと伸ばして「私は某区で退職後80歳まで勤めたあと、今でも現役で主婦と子どもに習字を教えて（出張授業）いる。まわりから年齢で老人扱いされるのは至極迷惑。『老人』の押しつけは持っている能力を奪ってしまう。70歳は働きざかり」と。そして、

いたづらっぽく「恋の噂ぐらい流したいもの…」には、やんやの拍手喝采。

この席に参加した私も、このあついメッセージに心から共感し、すごく啓発されたひとりでした。

労働科学研究所によると、筋力・全身運動機能等の低下はそれほどでもないが、少し劣るのが平衡機能や消化吸収能力、疲労の回復力

など。しかし、判断・言語理解・計算能力等は年をとるほど向上するとか。定年のない現役の国会議員諸公や大企業の社長等の活躍ぶりを見ても、戦前に比べて「平成老人の15歳若返り説」に頷いた次第。

ある人いわく「老いは、まさに人生の収穫の秋(とき)」と。

(編集委員 福原保子)

## 北から南から

小児期からの成人病を予防するための  
望ましい生活習慣の育成をめざして

富山県八尾町立八尾小学校 教諭 西 向 利 美

本校は、平成5・6年度と県学校保健会の指定を受け、標記のテーマで研究に取り組んでいる。小児期からの成人病を予防するためには、子供たちのライフスタイルをよりよいものにしていくと共に、自らの健康は自らつくっていかうとする意欲や態度を育てることが大切であると考え。そこで、

- ① 小児期からの成人病を予防するための基礎となる知識・理解を深める。
- ② 食事・運動・睡眠等の観点から自分の生活の仕方を見直し、改善していかうとする態度を育てる。
- ③ 家庭・地域・関係機関と連携して健康教育を推進し、小児期からの成人病予防につながる生活を実践する。

という3つの視点から仮説を設定し、研究を進めてきた。

以下は、初年度としての実践の一部である。

## ○子供の意識をゆさぶる授業(学級活動)

「好き嫌いをなくそう」「運動を続けよう」等の意識をもち、実践につなげるためには、なぜそうするこ

とが大切なのかを心情的に理解し、納得する必要があると考える。そこで「たべものパワー」(第1学年)「骨のひみつ」(第4学年)では、ビデオ等の視聴覚資料を取り入れ、驚きや発見のある指導過程とした。その結果、嫌いな食べ物でも体にとっては大切なパワーのもとであること、日々造り変えられる骨は運動によって丈夫になることなどの理解が深まった。

## ○家庭との連携

上記の授業も含め、学習参観や懇談会を通して保護者と教師が共通の認識に立ち、健康教育を推進するよう努めている。参観後の保護者の意見や食生活面で努力している家庭の姿も寄せられてきている。また、保健だより等による啓蒙活動、PTA保健給食委員会によるアンケートや親子料理教室、講演会なども実施した。

望ましい生活習慣作りをめちして、これからも連携をとりながら地道な努力を続けることが予防効果につながると考えている。

## 平成6年度 全国学校保健研究大会・地域ブロック大会

## 第44回 全国学校保健研究大会

1. 主 題 生涯を通じて健康で明るく  
豊かに生きる子どもの育成  
ー健康なライフスタイルを確立する  
自己管理の育成をめざしてー

2. 期 日 平成6年11月10日(木)・11日(金)
3. 開催地及び会場  
開催地 和歌山県和歌山市  
会 場 和歌山県民文化会館  
分科会 和歌山県民文化会館他12分科会13会場

大 会 名	期 日	開催地
第45回十三大都市学校保健協議会	5月22日(日)・23日(月)	北九州市
第17回近畿学校保健連絡協議会	7月21日(木)	兵庫県
第40回中国地区学校保健協議大会	8月3日(木)・4日(金)	広島県
第28回東北学校保健大会	8月10日(水)・11日(木)	青森県
第44回九州地区学校保健研究協議会	8月22日(月)・23日(火)	鹿児島県
第45回関東甲信越静学校保健大会	8月25日(木)・26日(金)	栃木県
第43回北海道学校保健研究大会	9月17日(土)・18日(日)	富良野市
第15回東海ブロック学校保健大会	11月24日(木)	三重県



### 和久井健三先生 を悼む

(財)日本学校保健会  
専務理事代行  
青木 宣昭

本会の専務理事和久井健三先生には、本年元日の夜ご逝去されました。心より哀悼申し上げます。

先生は、昭和53年より当会の常務理事、昭和62年から専務理事を勤められました。その前も昭和48年から12年間にわたって東京都医師会の理事・副会長を勤められました。その間終止一貫して学校保健を担当され、その発展拡充に尽されました。

今、その残された数々の大きな足跡を追ってみますと、あのしょう洒な体で、そして全く柔和という外ないご性格のどこにその原動力があったのかと思います。たゞ、その折その折の課題を見据えて、ひ

たすらに倦むことなく、抵抗することもなく、そして目立たせることもなく、ことを進められたことになったのかと思います。

現在、本会にはセンター的事業の充実、エイズ予防の学校保健の対応、経済基盤の確立等々、課題は数多くあります。この時、先生を失ったことの大きさは、今さらのように胸にひびきます。先生の残されたご意志を、及ばずながらも私達が引継がせていただきます。


### 故 和久井健三先生 略歴

大正6年2月13日生

昭和17年	慶応義塾大学医学部卒
28年	医学博士
31年	現住所にて開業
36年	大森医師会理事
48年	東京都医師会理事
50年	東京都学校保健会評議員
51年	東京都学校保健会専務理事
53年	日本学校保健会常務理事
58年	東京都医師会副会長
59年	東京都学校保健会会長
60年	文部省保健体育審議会学校保健分科会会長
61年	日本医師会最高優功賞受賞
62年	日本学校保健会専務理事
63年	日本医師会学校保健委員会委員長
平成6年	厚生大臣表彰・文部大臣表彰 正六位勲五等双光旭日章追贈される

### 日本の未来をなう子どもたち

～そのカラダとココロの健康のために～



**子どもたちの健康を守り、育んでいくのが、日本学校保健会の仕事です。**

子どもたちの健康を守るために、学校が行っている保健活動は大きく二つに分けられます。ひとつは、授業などを通して子どもたちに健康に関する正しい知識を教える健康教育。もうひとつは、健康診断や学校環境衛生検査の実施などの保健管理です。これらの学校保健活動を推進し、改善のための支援を行っているのが、私たち日本学校保健会です。

＜日本学校保健会の活動例＞

#### 健康教育

- エイズ予防のためのパンフレットを作成して学校に配布するなど、エイズ教育の推進を図っています。
- 歯の健康に関するパンフレットの作成や講習会の開催を通じて、学校の歯科保健活動を支援しています。
- 未成年者の喫煙・飲酒・薬物乱用を防ぐため、教材の開発や指導の手引きの作成などを行っています。

#### 保健管理

- 時代の変化、健康問題の変化に即した健康診断を実施するため、学校の健康診断を調査・検討しています。
- アレルギー性疾患や成人病等の健康問題に対応するため、子どもたちのライフスタイルを調査・研究しています。
- 子どものココロの問題の実態を調査して、より良い相談活動を行うためのマニュアル作成に取り組んでいます。
- 環境問題を地球規模で考え、身近なところから環境を守るための活動を行うことができるよう必要な情報を学校に提供します。

財団法人 日本学校保健会

### 「学校保健募金」のお願い

学校は、教育の場として、また多くの子どもたちが集団生活をするところとして、最も健康に適した環境であることが必要とされています。また、子どもたちの健康は、学校教育を円滑に実施していくための基礎となるものです。

日本学校保健会は、大正9年の発足以来、学校関係者、保健関係団体、保護者の方々のご協力により、子どもたちの健康を守り、育んできました。日本学校保健会では、子どもたちの抱える諸問題を調査、研究し、その成果を学校の健康診断や授業を通じて反映させることにより、時代に即した学校保健活動を展開してまいりました。

現代社会はたいへん豊かになりましたが、その反面、環境の変化に伴い、子どもたちの健康状態、健康問題にも変化が見られています。たとえば、子どものうちから成人病の徴候が見られるケースがあり、各種アレルギー性疾患への関心も高まっています。また、心の問題を抱えて保健室を訪ねる子どもや不登校の児童生徒が急増していることも、大きな社会問題となっています。さらに最近では、若者の間でエイズウイルスに感染する人が急増していることから、学校におけるエイズ教育の一層の充実が求められています。


日本学校保健会では、このような状況をふまえて、つねに最新の情報を備え、子どもたちに適切な対応ができるよう学校を支援していかなくてはなりません。

つきましては、広く一般から募金を行うことにより財政基盤を確立し、これらの活動の一層の充実を図ってまいりたいと考えております。

日本学校保健会の趣旨をぜひご理解いただき、子どもたちの健やかな未来のために、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成5年11月

財団法人 日本学校保健会  
会長 村瀬敏雄




発行 財団法人日本学校保健会 村瀬敏郎 〒105 東京都港区虎ノ門2-3-13 第18森ビル 電話(3501)3785・0968 振替口座 東京4-98761 頒価1部100円(送料共)

**"さあ、しゃっぽつだ!からだと心のたんけん"**  
 低・中学年 入江幸子 著 ★B5変型判・72頁・定価1,200円(税込)<〒380>  
**"さあ、出発だ!体と心の探検に"** 高学年 入江幸子 著  
 ★B5変型判・80頁・定価1,200円(税込)<〒380>  
**ぼくのもパパみたいになるのかな** 入江幸子 文  
 原ゆたか 絵  
 一おとこのこのほん— ★B5変型判・80頁・定価980円(税込)<〒380>  
**ママだけのティッシュってなあに** 入江幸子 文  
 奥田怜子 絵  
 一おんなのこのほん— ★B5変型判・80頁・定価880円(税込)<〒380>

**第一法規**  
 〒107 東京都港区南青山2-11-17  
 ☎(03)3404-2251/FAX(03)3404-2269

学童の集団検尿に、  
**エームス尿検査試験紙。**



エームス尿検査試験紙(グルコース、蛋白質、pH、潜血(A))  
**ヘマコンビスティックス**  
 エームス尿検査試験紙(白血球、潜血(B)、蛋白質、pH、潜血(A)、比重、ブドウ糖)  
**ネフロスティックス-L**

マイルス・三共株式会社  
 東京都中央区銀座1丁目9番7号  
 販売元：  
**三共株式会社**  
 東京都中央区銀座2丁目7番12号 〒104 ☎(03)3562-0411  
 JU0594-S

健康へのひと粒 歯・骨を丈夫に…  
 ビタミンADを含んだ… 服用しやすい  
 ゼリー状ドロップ剤



**カワイイ肝油ドロップ**

河合製薬株式会社 〒165 東京都中野区新井2丁目51番8号  
 電話 03(3385)3111~7

日本水道協会が、うがい器では初めて型式承認!

**300自動うがい器**  
 水道管に直結できる うがい器 低学年向きのサイズもあります。

日本学校保健会 推せん品

サラヤ株式会社 ☎(06)797-2525 東京サラヤ株式会社 ☎(03)3472-1521

プール用殺菌・消毒剤

**ネオクロール**

**四国化成工業株式会社**

東京本社 大阪支社 福岡営業所 名古屋営業所 徳島第2工場  
 0472(96)8181 06(251)4111 092(431)4111 052(211)4111 0886(98)4111

